

現場改善が“進まない”“継続しない”という悩みを解消せよ！

現場改善を成功させるために 改善リーダーが すべきこと

組織全員のベクトルをあわせる
改善の文化・風土を根付かせる

開催日 2020年2月26日(水) 午前10時～午後5時

講師

本多 貴治 氏 (KWP コンサル 株式会社 代表取締役 元 日本電気㈱)

1982年、名古屋工業大学卒業後、日本電気㈱入社。1988年、同社退社後、(株)中部産業連盟に入職。中小企業診断士取得(1994年～2010年登録)。製造業の生産性向上支援、及びISO9001構築支援及び審査に携わる。2006年独立、2008年、KWP コンサル(株)を設立。中小企業経営者目線のカイゼン支援を行う。全能連マスター・マネジメント・コンサルタント、ISO9001主任審査員、ITコーディネータ資格を有する。

著書:「組織の力をグイグイ育てるカイゼンのヒント」

<https://www.kaizen-wp.jp/>

研修会場

大阪府工業協会 研修室 (大阪府中央区南本町2-6-12 サンマリオン NBF タワー4F)

[地下鉄 御堂筋線・四つ橋線・中央線「本町」駅9番出口より徒歩4分/堺筋線・中央線「堺筋本町」駅8番出口より徒歩3分]

受講費

1名につき 会員会社 ¥26,400

非会員会社 ¥31,900 (いずれも消費税10%含む)

振込先 ・三井住友銀行 備後町支店 当座 No.201068

・りそな銀行 大阪営業部 当座 No.1027054

・三菱UFJ銀行 信濃橋支店 当座 No.321966

申込方法

下欄の受講申込書をFAXで当協会宛てにお送りください。
(ホームページからもお申込みいただけます)

折り返し、受講票・請求書・振込用紙をお送りいたします。

FAX 06-6245-9926

※2/21(金)以降の受講取り消しの場合は受講費を全額ご負担いただきますので、
代理の方の出席をお願いいたします。

[会場のご案内]

-----キリトリ線-----

受講申込書 現場改善を成功させるためにリーダーがすべきこと

2020.2.26 開催

No.971310-1436YK

会社名				受講者	所属部署名(役職名)	氏名	
所在地	〒						
電話番号		FAX		事業内容		従業員数	名
◎受講費送金予定 振込(月日銀行) 受講者()名分 ¥ (税込み)				◎申込担当者(受講票・請求書等のお送り先) 所属(役職名) 氏名			

お申し込みは ▶ FAX 06-6245-9926 公益社団法人 大阪府工業協会

※申込書にご記入いただいた内容は、事務処理(受講票・請求書の発行)・担当講師への受講者

名簿提示のほか、研修案内の送付に利用させていただく場合がございます。なお、内容の訂正・利用停止をご希望の際は、当協会までご連絡ください。

<http://www.opmia.or.jp/seminar>
ホームページからも受講申込できます

対象はトップと現場をつなぐ製造部門監督者です。

現場の改善が上手くいかない大きな要因としては、「改善する内容が見つからない」「忙しくてそれどころでない」「苦労してやる意味がどこにあるのか」「どうせ褒められないですから」「余計なこと言うよりじっとしてた方がまし」「とやかく言われ、やらされ感で面白くない」「どうせすぐに尻すぼみするに決まっている」などがあげられます。改善活動をどのように進めていけば良いかお困りの方は、ぜひご参加ください。長年現場改善に携わってきた講師が事例をまじえ解説します。

1 現場改善はなぜ進まないのか

- (1) トップの期待と現場の声なき声
- (2) やることがわからない × やる意味がない × やりがいを感じない × 組織のしがらみ
- (3) 改善活動は現場が組織（チーム）として機能していなければいけない

2 現場の良し悪しを映し出すための目のつけ所

- (1) 現場の良し悪しを会社訪問して5分で想像する
- (2) 「現場をよく見ろ」と言われた時、どこ何を見るのか
- (3) ムダの着眼は“価値があるか”“価値がないか”の見極め
- (4) 現場が雑然としている正体
- (5) 忙しい時と暇な時でも残業時間が同じな理由
- (6) 「人による差です・作業者の資質です」で改善を放棄しない
- (7) 真の設備効率を知る
- (8) 改善で2S（整理・整頓）はやっぱり見逃せない
- (9) 標準類を活かす
- (10) ハリボテ改善は意味がない

3 改善は部下・上司・課員を共通認識でつなぐ

- (1) 良い会社・良い現場とはどんな現場なのか
- (2) 良い会社・良い現場づくりへのストーリー腹落ちで「よしやろう」が生まれる
- (3) 「いくつの納品でいくら儲かる」との関連性の理解でやる気が沸く
- (4) 改善活動の足跡・結果をフィードバック
- (5) 今が良いのか？良くないのか？目配りと声掛けのポイント
- (6) 当たり前ではなく、有難さに気づき、言語化
- (7) 組織の改善の温度をあげるコミュニケーションとサポート体制の作り方
- (8) 現場主義、実践主義で小さな結果からスタート

4 明日から実践、改善の進め方

- (1) 改善の文化づくり
- (2) できることから着手 ～ジンワリ／ヤンワリ改善と一気呵成改善～